

生産能力増で拡販を 溶剤系並みの水性樹脂開発

大成ファインケミカル(千葉・徳倉眞治社長)で、壁材用、床材用に拡販は、この夏に本社工場の生産能力を従来の年1千tから2千tへと倍増し、カチオン系自己架橋型エマルジョンの市場展開を強

子ノエマルジョンであるため、シエル成分の低分子部分が基材深くに浸透し、自己架橋するもの。屋根用無機質ボードの下塗材である塗り替え用シーラー向けでは高密着強度、固着性、耐アルカリ性に優れるといった特長を有する。

環境対応が求められる市場において、溶剤と同等の性能を持つ水性樹脂として好評を博している。また、同社では、アニオン系とカチオン系を共存させたポリマーコンプレックス・アクリルエマルジョン(商品名「アクリット」R KWシリーズ)の開発に世界で初めて成功している。既に昨年特許を申請済み。サンプル出荷もスタートしている。今まで難しいとされてきた溶剤系並みの高機能水性樹脂の開発の功は、塗料・インキなどの多様なコーティング分野よ

り期待を寄せられ、大気汚染や地球温暖化の原因でもあるVOCの低減に大きな貢献となる。

従来のアニオン系樹脂とカチオン系樹脂は、混合すると凝集してしまい使用ができなくなる。しかし同社では、独自の合成技術で両者の必要とされる特性を維持しながら、凝集することなく共存安定するポリマーコンプレックス(異種ポリマーを連ねる技術)に成功した。

「R KWシリーズ」は、中和剤である酸を使用していないため、発生が少ない②カチオン系であるため金属への高い密着に優れている③カチオンとアニオンの強力な自己架橋結合をすることにより強靱な塗膜を形成するといった特性を持っており、使用用途としては、エマルジョン樹脂でありながら、さびの発生が少なく金属用途に期待できる。また、金属だけでなくプラスチック、フィルムなどへの密着等の物性も良好なグレードもあり、インクジェットへの受像層などの記録材や電材用途にも期待され、市場は数千トンと見込んでいる。

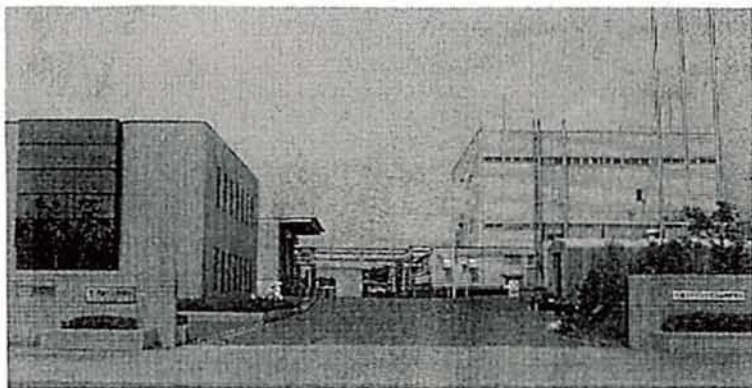
03・3691・31

どこよりも早く、的確に、高品質に、
「ケミカル・オーダーメイド」という発想。

アクリット製品紹介

油性	アクリル	— ホモポリマー
		— 純アクリル
		— 酢ビアクリル
		— 高酸価アクリル
		— アクリルポリオール
	— スチレンアクリル	
変性アクリル	— アクリルウレタン	
	— シリコンアクリル	

水性	水溶性樹脂	— アルコール重合タイプ
	相転換	— アクリル
		— ウレタン
	コア・シェル	— アクリル
— アクリルウレタンエマルジョン		
— 機能剤内包タイプ		



大成ファインケミカル株式会社

<http://www.taisei-fc.co.jp>

本社・工場 〒289-2505 千葉県旭市録数9163-19 あさひ録数工業団地内
TEL 0479-64-2077(代) FAX 0479-64-2288
営業所・研究所 〒124-8535 東京都葛飾区西新小岩3-5-1
TEL 03-3691-3111(代) FAX 03-3691-3160